

令和3年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動関係者研修会 (離島地区：新上五島町) 概要

1 日 時 令和3年10月7日(木) 13:30~16:30

2 会 場 新上五島町離島開発総合センター

3 参加者 計38名

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進するために、子どもの育成に携わる地域と学校の関係者が一堂に会し、講義や実践発表、グループ協議を通して、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について理解し、実践につなげることをねらいとして実施しました。

4 内 容

- (1) 講 義 ①「コミュニティ・スクールについて」
長崎県教育庁義務教育課
②「地域学校協働活動と地域学校協働本部について」
長崎県教育庁生涯学習課
- (2) 実践発表 「杵岐市立志原小学校 志原っ子育成協議会の実例」
志原地区まちづくり協議会長 内山 圭三 氏

学校運営協議会とまちづくり協議会が連携して取り組んでいる志原地区における「成り立ちや組織の概要」、「これまでの実践」、「まちづくり協議会との取組」、「成果と今後の取組」等についてお話いただきました。参加者からは、「具体的に何をすればよいか、何から始めていけばよいかのヒントをいただきました。」「安心・安全な放課後の子どもの居場所づくりである放課後子ども見守り教室の活動が、より具体的で大変参考になりました。」などの感想が寄せられました。



(3) グループ協議

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を進めていくためには、まずは、学校運営協議会(学校支援会議)等で、地域と学校が子どもを育てる共通の目標(目指す子ども像)を共有することが大切です。そこで今回、地域関係者と学校関係者がグループ協議により、地域と学校が連携・協働できることについて考えていただきました。

参加者からは、「同一校、近隣校内での話し合いだったが、様々な角度からの意見や、保護者からの意見を聞くことができ、充実した時間を過ごすことができました。」「身近な地域の方と地域のことについて話し合いができ、今後のコミュニティ・スクールでの目標ができた思いがしました。」などの感想が寄せられました。

